

## 大分県内拡大支部長合同会議

日時：令和元年5月10日18：30～

場所：大分市 レンブラントホテル

参加者：大分県内の支部長、世代間交流会の代表等41名

### 会議の協議内容

1 初めに石川公一四極会会長、大崎美泉経済学部長、野々下俊昭100周年記念事業実行委員長から挨拶。

2 柴田宏二常務理事から事業の進捗状況、特に記念募金の状況等について説明。

3 玉井鉄之募金推進小委員長の司会で議事を進めた。

○玉井委員長より今後の募金に向けた取り組み方針等について次のような説明、提案機運の盛り上げが最大の課題。

12月末に5千万円、今年度末に7千万円の達成を目指す。

クラブOB会、ゼミ、期別同総会、大分大学同窓会連合会に呼びかける。

個人会員向け第2弾の依頼文を9月に発送する。

9月以降、法人への募金活動も進める。



○多くの会議参加者が募金推進について意欲を語った。

(豊和銀行支部 佐藤支部長)

会員が協力してくれて、募金開始1ヶ月で目標を達成した。法人募金にも力を入れたい。

(大分支部 高井支部長)

マンツーマンで泥臭く会員の背中を押していく。

(別府支部 栗原支部長)

支部長名で会員に手紙を出す等の方法により個別に働きかける。

(桃優会会長、昭平会 高野浩子)

会議のたびに募金箱を回している。昭平会は毎回1人1,000円の積み立てを続けてきた。

(成和会 山口幹事)

例会で働きかけを続けている。

(大分銀行支部 菊口支部長)

管理職、一般行員に分けて目標額を設定し、年内に支部目標を達成したい。

(旦桜会 甲斐会長)

100周年を機に優秀な学生を輩出する大学に脱皮してほしい。例会の都度、会員に募金を働きかけたい。

(青雲会 岩尾事務局長)

同窓会連合会を利用した病院への働きかけ、給与天引き、物品販売等通じて、憎まれ役になることを恐れずに推進を。

(大分支部 佐藤副支部長)

支部総会を絶好の機会ととらえ、募金のお願いをしたい。

(大分合同新聞支部 伊達支部長)

今年度中には目標を達成したい。

(大分大学支部 竹内支部長)

他の支部に負けず、頑張りたい。

(玖珠支部 森支部長)

来月の支部総会から始める。まずは役員から。

(中津・豊前支部 窪田支部長)

支部の役員が率先して範を示したい。

(宇佐・高田支部 花岡支部長)

支部内の有力企業と協力して進めたい。



#### 4 最後に野々下実行委員長が参加者を激励

募金活動を通じて支部活動を活発にすることも⑦重要。100周年を契機に、女性にも役員になってもらう等、支部組織の見直しも考えてほしい。支部長一人で頑張らずに役員全員で英知を結集し進めていただきたい。

